

## ■ 前回の例会記録

第3392回 2023年8月8日(火)

### 【会員増強月間】

会員増強委員長 吉田 博俊 委員長

### 【新会員卓話】

第一生命保険株式会社  
宮崎支社長 須藤 裕之 会員

### 出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	97名
例会出席会員数	64名
同上出席率	66.67%

## ■ 今回の例会予定

第3393回 2023年8月22日(火)

### 【ゲスト卓話】

株式会社馬原造園建設  
代表取締役 小川 次郎 様  
「アミノバイタルトレーニングセンター宮崎と  
これからのスポーツランドみやざき」

## ■ 次回の例会予定

第3394回 2023年8月29日(火)

### 【ゲスト卓話】

防災コンサルタント Mamoruwa(マモルワ)  
代表 黒木 淳子 様  
「いきる防災」

## ■ 幹事報告

- 本日の配布物  
・週報No.5 ・夜間例会の案内、9月のプログラム、新入会員  
・来週15日はお盆休みで特別休会となっております
- 池ノ上ガバナーの動き  
8月7日鹿児島中央、8日鹿児島城西、9日鹿児島南(中止)、  
10日鹿児島東  
佐藤地区幹事、長友良弘会員、内村会員、杉田会員、鳥山  
会員が幹事団として同行します

## ■ ビジター会員

第2730地区 宮崎県中部グループ  
ガバナー補佐  
長嶺 貴臣 会員 (宮崎北RC)

名誉会員  
宮崎RC第47代パスト会長  
定永 正明 会員

鹿児島サザンウインドロータリークラブ  
中村 聡 会員

## ■ 会長の時間

姉妹、友好クラブについて(二部)  
岡本 俊則 会長

皆様こんにちは本日の卓話は先週の続き姉妹クラブ、友好クラブについてのお話です。

今回は姉妹クラブであります。山形ロータリークラブのお話をさせていただきます。

馴れ初めは当然、私などが知るよしもない頃の話ですが、お聞きするところによると、当時のNHK宮崎局長であられた佐藤昌一郎さんのご出身が山形であり、ご異動後の次の勤務地が山形であった(故郷に錦を飾った)ことから、花街の文化の習得の為に小唄などに造詣の深い“粋”な大先輩方が“チントンシャン”と

交流を始められたとのことです。(1993年~1994年にガバナーをお努めになられた)第21代会長 三重野良輔さんの頃だそうですが、正式に姉妹クラブとして締結したのは第26代会長 細川義一郎さん(細川先生のお父様)の時だそうです。

現在のように毎年お互いを行き来するようになったのは第54代会長の加賀城征洋さんの頃からで本当に良い関係が継続しています。

今般、奈良の前日、7月26日水曜日に山形ロータリークラブ通常例会にも参加をして参りました。御礼とお願ひに加え、池ノ上ガバナーのファイブベイズバッジを会員全員分贈呈して参りました。このバッジにはとても感激され山形と宮崎の友情の証として本年度一年間全員で着用して下さるとのことでした。山形・奈良共にわずか2時間足らずの滞在と言う強行スケジュールでしたが、しっかりと訪問の目的を果たすことが出来ました。また両クラブの通常例会(日中)に参加が出来たことも我々には意義深いものとなったと思います。自クラブの運営にも参考になるであろう部分をしっかりと学ぶことが出来ました。

そして山形には11月28日火曜日に地区大会参加の御礼を兼ねて正式に訪問をさせて頂く旨お伝えし、ご快諾を頂いております。時期(季節)的なものも考慮し蔵王での受け入れを予定して頂いている様です。皆様にはご予定宜しくお願ひ致します。

新しい会員の方の為にもう少し山形ロータリークラブについてのお話をさせて頂き、山形ロータリークラブと宮崎ロータリークラブは類似している点がとても多いのが特徴です。規模感(約100名前後で推移)や生い立ち(地域の古株で格式が高い)、メンバー構成(転勤族と呼ばれる企業人、地元企業トップ、JC出身者)等の割合がほぼ同じで、共通点が多いことでお互いの話しが合う。また、交流の中で、メンバー同士の共通の趣味や趣向、出身校や年齢などの合致点から個々の繋がり幅が広がり組織とは別のつきあいが生まれています。“とても良いところ”

あと、お互いがメインとするゴルフ場の設計者が同じという共通点もあります。

山形は蔵王カントリークラブ、宮崎は宮崎カントリークラブですがコース設計は昭和時代のトップアマチュア選手で、名設計家と謂われる三好徳行氏の手掛け、現在ではいずれも日本のゴルフ聖地百選に数えられる名門コースとなっています。類似点まだまだあります!

- ・県庁所在地で中核市であること。
- ・都市機能も充実していてとても暮らしやすいまちです。
- ・自然が身近にあり、山と海の違いはあるがスポーツも気軽にでき、穏やかな生活が送れる。
- ・地域とのつながりもあり、人との関わりが持てて心豊かに暮らすことができること。
- ・畜産 山形牛 → 宮崎牛
- ・農業 種類は違えども果実が豊富  
サクランボ・ラフランス → マンゴー・日向夏 等

勿論、大きく違うところもあります。それは文化だと思います。冒頭に触れましたように山形には花街の文化が色濃く残っており、お伺いした折りにご接待頂くのは基本料亭で“ちんどんしゃん”の世界です。二次会の会場も西橋の様な喧噪はなく、いつも行くお店は決まっています。“シュールorなでしこ”の二択です。

私の感覚では比較的若手は“シュール”、重鎮は“なでしこ”という感じもっていますが皆さんの山形へ訪問された際にはどちらに案内されるかによってある程度のご自分の立ち位置の確認が出来るとも知れません(笑)。

先日、山形ロータリーの親しくしている先輩からこんな連絡が来ました。宮崎ロータリークラブに訪問する際の心得を(若い会員・初参加の会員に対して)クラブ内で共有しようとの話になり中堅どころで話し合った内容だそうです。その内容は概ねこんなことでした。

『宮崎RCと山形RCは切磋琢磨を励みとして互いに競い合うべき良き相手(ライバル)である。友人とダチの違いを認識して欲しい』

い、訪問は観光や遊びではない、飲酒においても呑み騒ぐ相手ではなく節度と緊張感をもって対応すべきである。大切なことは先輩たちが累々と積み上げてきた関係値や努力を重んじること。それらを壊すような事は絶対にあってはならないと言うことです。

真の懇親とは個同士が関係を深める事であり、お互いの意思が通じ合うまでは数年はかかる、一朝一夕ではなしえないことである今後のお付き合いを見据えそんな気持ちで臨んで欲しい。先方も正に同じ気持ちでお付き合いをして頂いている。』との事でした。

良い関係を永く続けるためにはお互いがお互いを重んじる気持ちが大切だと改めて感じさせられました。

最後に、当日はガバナー補佐の訪問例会でありましたが、林政俊ガバナー補佐は私たちの訪問にあわせ宮崎ロータリークラブの創立70周年記念のネクタイを着用してのご出席でありました。

以上で二部に渡りました姉妹クラブ・友好クラブのお話を終わります。



## ■ 会員増強月間

「会員増強委員会」  
吉田 博俊 委員長

2730地区会員増強・拡大セミナーについての要約です。セミナーは、コロナの影響で4年振りに開催され、池ノ上ガバナーをはじめ、各クラブの会長、会員増強委員長の総勢約80名という多くの方がご参加されていました。セミナーでは、「増強」と「拡大」という言葉の違いについてのお話があり、またグループディスカッションとなりまして、「増強」・「拡大」・「退会防止」という3つのテーマについてグループごとに話し合われました。各クラブの「増強」・「拡大」というテーマでは、増強を意識しているメンバーが決まっている、偏っている、メンバー全員で増強するというクラブ内の雰囲気づくりが大切だというご意見や、成功事例として、他クラブの同業者の方に横のつながりでお知り合いをご紹介頂き、入会につながったという事例もございました。また「退会防止」という観点では、退会者のひきとめ役として、会員増強委員長には若手会員ではなく、経験豊富なベテランの会員さんになってもらうというクラブがあったり、どうしても事情が



あり辞められる方には気持ちよく退会して頂く為に「退会式」という式典を行って、記念品や感謝状を贈り、ロータリーに対して悪い印象をなくして退会して頂くことで、再入会につなげているというクラブの事例もございました。

・スライド①宮崎ロータリークラブの現状について報告。正会員が97名で、平均年齢が60.72歳であること、女性会員は6名で、30代の若手会員はいない状況です。

・スライド②会員増強委員会の今年度の活動方針と活動計画について報告されており、女性会員や若手会員の増員を図ることが目的であることが明らかにされました。また、「会員からの情報収集を積極的に行う」、「他の若手団体からの情報収集に努める」、「後任が決まっていない企業訪問を行い、状況確認を行う」としています。

・スライド③今年度は105名という増強の目標が設定されており、女性会員や若手会員の増員を図ることが目的であることが明らかにされました。また、具体的な動きとして、女性会員増強については他団体でも幅広く活躍されている6名の現女性会員の皆様にお友達など情報を頂きたいと考えております。次に若手会員増強ですが、各種団体青年部の後輩を頼って情報をもらったり、またロータークメンバーの横のつながりでご紹介を頂くという動きもしていきたいと思っております。

・スライド④現状の活動報告ですが、引継ぎ会員5名、新規会員4名、合計9名の方にアプローチさせて頂いており、すでに入会が確定した方もいらっしゃいます。

最後に今月のガバナー月信に池ノ上ガバナーの会員増強についての記事を紹介いたします。

「私たちの国際ロータリー第2730地区でも会員数の減少の悩みを抱えておられるクラブが少なからず見受けられます。

会員数を増やし、ロータリー活動の素晴らしさを維持し、社会的にも、個人的にもためになる、明るく楽しいロータリーライフの基盤づくりを広めたいものです。

ロータリーの会員となって、つらいところ、困ったところ、嫌なところ、面白くないところなどを繰り返し口にするのは、経験した素晴らしいところ、助かったところ、好きなところ、楽しいところなどについて、自分のロータリーライフを振り返り見つけてもらってはいかがでしょうか。

一人一人が気付いた、自分のストーリーテリングを語り合い、またこれからロータリークラブに入ってみようかと思っている人にも語り掛けてみたらいかでしょうか。」

### 1 現状の会員構成

- ・正会員 97名 (名誉会員 2名) スタート
- ・年齢構成 平均 60.72歳
  - 30歳代 0名
  - 40歳代 12名
  - 50歳代 38名
  - 60歳代 25名
  - 70歳代 20名
  - 80歳代 2名

※女性会員 6名 / 若手会員 (30歳代) 0名

### 2 活動方針・活動計画

女性会員や若手会員の増員を図り、バランスの取れた会員構成を目指す

- ・会員からの情報収集を積極的に行う
- ・他の若手団体からの情報収集に努める
- ・後任が入会していない企業訪問を行い、状況確認を行う

※会員の維持  
退会させない「居心地がよく・楽しいクラブづくり」のサポート

### 3 ★今年度目標 105名

- ・女性会員  
現女性会員からのご紹介
- ・若手会員  
各種団体青年部、ロータークメンバーへの情報収集
- ・職業分類から  
整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、レストラン、スポーツクラブ  
スーパーマーケット、自動車販売、レンタカー、林業、畜産  
福祉、介護、幼稚園、保育園 など

### 4 現状活動報告

- ◆引継ぎ会員 5名
  - ・40歳代 1名
  - ・50歳代 4名
- ◆新規会員 4名
  - ・40歳代 2名
  - ・60歳代 1名
  - ・女性会員 1名

### ■ 新会員卓話



第一生命保険株式会社 宮崎支社長

須藤 裕之 会員

昭和47年生まれ、今年51歳になります。自宅は神奈川県鎌倉市鎌倉山です。写真は散歩コースの海岸線、江ノ電の踏切の写真は昨年末話題になったスラムダンクというバスケットボールアニメに描かれている場所で、観光客が頻繁に訪れる写真スポットです。私は1年しか住んでおらず、単身12年目となります。会社は平成7年に入社、同期の有名人にエコノミストの永濱利廣がいます。入社以来全国転勤を繰り返しておりますが、出身の関東以外はほとんど西日本、特に九州の転勤が多いです。趣味は筋トレと登山。ゴルフは100を切れません。ロータリーに入会するのは初めてです。会社としては全国各地域で支社長職を務めるものが入会・活動させていただいております。日本初のロータリークラブが、1920年設立の東京ロータリークラブ、ということですが、その初代会長になられる米山梅吉さん、この方と親密にしていたのが当社の創業者の矢野恒太、その長男で当社の第4代社長が矢野一郎、東京ロータリークラブで活躍したとのことで、特にロータリーソングでその名を見ます。「手に手つないで」「それでこそロータリー」の作詞作曲をしたのが矢野一郎、ということでございます。創業当初から社会貢献活動には力を入れていたようで、当時不治の病であった結核への取組、その予防研究の組織としての保生館は、となりのトトロという映画アニメの舞台です。その精神は今も脈々と続いておりまして、現在は保障、資産形成、健康、つながりという4つの分野の価値提供で社会課題解決に貢献しよう、と掲げております。当社の最大の武器は全国にいる営業職員によるフェイス トゥ フェイスの情報発信力になります。ゆえに様々な施策があれば、その浸透に苦慮している自治体様との協働をすすめており、この宮崎でも市町村単位で包括連携協定をさせていただいております。前任地私は福岡で産学連携を担当しました。そこで九州大学との協働を試みました。役員の所属する福岡ロータリーの人縁をお借りして、馬奈木教授にご縁をいただきました。統計学の先生で

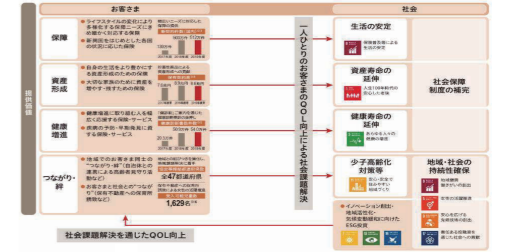


### 3 矢野一郎 東京RC



矢野一郎は「人間が集まった時に歌を歌えば気持ちがほぐれ、しかもつらい顔をしていないで、まず歌おう」というRCの趣旨とロータリーソングの原点を語る。

### 4 地域のお役にたつ第一生命であるために...



### 5 第一生命による「地域課題解決」の取組概要



### 1 簡単な略歴・自己紹介



### 2 ロータリークラブと第一生命

1905年 ロータリークラブがシカゴに創設。  
1915年 日本人としては初めて福島第三次がロータリーに入会(ガラスRC)。  
1920年 日本初のロータリークラブ「東京RC」が米山梅吉・福島第三次によって設立。  
初代会長米山梅吉・初代幹事福島第三次。  
生命保険業界最初の会員は明治生命(現明治生命)役員藤田博氏。  
1924年 米山梅吉氏が三井信託機創設。矢野恒太が創設時の取締役となり、創設者 米山梅吉と交流を持つ。  
1951年 東京RC矢野一郎「手に手つないで」を作詞・作曲  
その後矢野一郎は、「それでこそロータリー」「ロータリーのおじさん」「笑って買ってロータリアン」等作詞・作曲。  
1959年 東京品川ロータリー創設  
1960年 矢野一郎東京ロータリークラブの会長に就任  
1961年 国際ロータリークラブ年次大会、東京で開催。  
基調講演は第一生命元社長石塚泰三(経団連会長)。  
大会の開会式の最後に、矢野一郎が作詞・作曲した「手に手つないで」を全員で合唱。  
指揮は矢野一郎、英語題名は「Hand in Hand」。

### 5 池ノ上ガバナー 公式訪問

- (今週の予定)
- 8/21 (月) 鹿兒島令和 ●同行者/ 金丸直裕、長友良弘
  - 8/22 (火) 鹿兒島東南 ●同行者/ //
  - 8/23 (水) 鹿兒島西 ●同行者/ 吉田博俊、黒木勇人
  - 8/24 (木) 鹿兒島サザンウインド ●同行者/ //

**Rotary**  
第2730地区  
宮崎ロータリークラブ

- 本年度(2023~2024)宮崎ロータリークラブの目標**
- ①国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
  - ②池ノ上ガバナーの活動支援
  - ③青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
  - ④会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
  - ⑤例会出席率90%以上の確保
  - ⑥ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
  - ⑦米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

<会 長> 岡本 俊則  
<副 会 長> 藺田 潤子  
<幹 事> 藺田 有美  
<会報委員会> 福松修一郎

■例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)  
■例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)



日本の  
ひなた  
宮崎県